令和７年度
事　業　報　告　書

社会福祉法人茂原高師保育園

たかし保育園稲毛海岸

１．　管理業務の実施状況

① 保育時間

平日　午前 7 時～午後 8 時　　土曜　午前 7 時～午後 6 時

② 特別保育事業

産休明け保育事業	生後 57 日より
延長保育事業	18：01～20：00
地域交流	園の行事に参加・一緒に遊ぼう(子育て相談)

③ クラス体制および利用状況

めばえ組…0 歳児　ふたば組…1 歳児　しげり組…2 歳児　みのり組…3・4・5 歳児

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	3	4	5	6	6	6	30
R7 年４月	2	7	6	3	6	6	34
R8 年 3 月	5	8	6	4	6	6	36

④ 職員体制

園長　　中林瑞穂	ふたば　天田優美	みのり　水越愛美
主任　　萱沼莉莎	ふたば　松浦瑠南	栄養士　増田美貴子
副主任　　山近夏美	しげり　金子茉代	栄養士　飯竹安輝子
めばえ　渡部唯	しげり　大原千佳	フリー　新山亜希子
めばえ　　清水奏	みのり　山近夏美	

２．年間行事実施状況

誕生会・避難訓練・身体計測・リトミック（月 1 回）・体操（月 2 回）

4 月	新入園児歓迎会　みんなで仲良くなろう　　内科健診　お花見
5 月	こどもの日の集い　　おやつバイキング
6 月	歯科健診　　親子で体を動かそう(運動会)
7 月	七夕の集い　夏まつり　水あそび　わらべ歌・絵本(みのり)
8 月	水あそび
9 月	総合避難訓練　尿検査（3・4 歳児）　防犯訓練
10 月	芋ほり(みのり)　園バス（しげり・みのり）　内科健診 魚解体ショー(みのり)　親子遠足(みのり)
11 月	通報訓練　就学児健診（年長）　園バス（みのり） わらべ歌・絵本(みのり)　　親子講座(手作りバター・サンドイッチ)
12 月	クリスマス会　餅つき　発表会　園バス（みのり・しげり）
1 月	初詣(全園児)　初釜(みのり)　年長小学校交流 わらべ歌・絵本(みのり)
2 月	節分　味噌づくり　スポーツ大会　保育参観・面談　年長小学校交流

3 月	ひな祭り集い　ピクニック（全園児）　入園説明会 お別れ会　卒園式　進級会　保育参観・面談
その他	毎月：誕生会　避難訓練　食育リトミック(みのり)　体育指導(運動遊び)　試食会

３．職員研修実績

日	参加者	研修名
毎月第 2：火	中林	園長連絡会議（民間保育協議会）
年間　10 回	中林	保育大会委員（民間保育園協議会）
年間　5 回	萱沼	主任会（民間保育園協議会・千葉市保育協議会）
年間　4 回	増田	栄養士研修
年間　4 回	水越	保育向上部会
年間　4～5 回	金子　中林	美浜区会
	全職員	法人内研修　児童虐待について(役所)　感染症対策(役所) 救命救急講習　防犯訓練

参加者	研　修　内　容
中林瑞穂	幼保指導課　園長・所長研修 千葉市保育協議会　施設長研修 千葉市民間保育園協議会総会 千葉市保育協議会全体研修(表彰) 保育振興大会
中林・増田	千葉市保育協議会総会
中林・飯竹	千葉市保育協議会全体会
中林・水越・金子 萱沼・大原	美浜区会全体会
中林・水越・飯竹 増田・	千葉市民間保育園協議会保育大会
萱沼莉莎	主任保育士研修　千葉市役所（正庁） こども主体の保育を展開するために(幼保指導課) 保育の質が高まる組織マネジメント(千葉市保育協議会)
水越愛美	キャリアアップ研修　障碍児保育
増田美貴子	献立・食育・食事調査について(幼保指導課) 栄養指導の質を上げるコーチング(千葉市保育協議会)
飯竹安輝子	日本人の食事摂取基準の活用について(幼保指導課) キャリアアップ研修　保健衛生・安全対策　幼児教育
金子茉代	キャリアアップ研修　乳児教育
天田優美	キャリアアップ研修　保健衛生・安全対策
渡部唯	キャリアアップ研修　乳児研修
大原千佳	食物アレルギー対応について(幼保指導課)

	非認知能力を育む保育(千葉市保育協議会)

職員会議	月１回実施
内容検討会議	月１回実施
クラス会議	月１回実施
献立会議	月１回実施
ケース会議	必要な時に実施
安全対策会議	事故・怪我発生後　　ヒヤリハット報告後　実施

４．運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書　令和６年度　（自）令和７年４月１日（至）令８年３月31日」参照

５．評価および反省

＜保育＞

令和７年度は、日々の生活でクラスの枠を超えて交流を楽しむ姿が多くみられました。年齢の違う友だちの行動に興味を持って接する姿や、触れ合い甘える姿など微笑ましい場面がたくさんありました。　運動会は『親子でからだをうごかそう2025』と題し、親子で楽しめる内容を今年度も行いました。卒園児やご家族などたくさんの参加があり、盛り上がりました。　発表会はたくさんの保護者に観に来ていただきました。子どもたちと職員で内容を考えて練習を重ねていく中で力を合わせて協力することや意見を伝えること、最後まで頑張ることなど成長を感じる場面がたくさんありました。　親子講座は、手作りバター・サンドイッチと千葉の郷土料理“太巻きずし”を行い、とても喜ばれました。今年も食育を栄養士と保育士が相談して行い食への興味を引き出していくことが出来ました。　夏祭りやクリスマス会などは、地域の方も招いて開催し交流を楽しんでいました。　恒例となったスポーツ大会もマラソン・なわとびは、今年度も積極的に練習して寒い季節もたくさん体を動かすことで、食欲も増し体調管理にもつながっていました。　警察署職員や交通安全委員会職員の方に来ていただき、訓練の大切さ、交通ルールについて学び日々の生活に活かしていました。また、地震から津波を想定した保護者伝達訓練も兼ねた避難訓練を今年度も取り入れ、災害時の連絡方法についての確認をしっかり行いました。

＜運営について＞

４月から定員数を上回りました。子どもたちや保護者が安心して過ごせるように保育を行っていきました。若い職員間のコミュニケーションが難しく感じることが昨年度から引き続きありました。　物価上昇で価格高騰がありましたが、食材やメニューの工夫や電気や資材の節約をして子どもたちが、満足して笑顔で過ごせるように工夫しました。

＜今後の課題＞

正職１名採用(新卒１名)　　保育の状況や職員間の様子を把握していき、日頃から職員との対話をより大切にして、休憩時間場所の拡充や交流の場を設け働きやすい環境を整えることがこれからも大切にします。また、職員が考えを伝えあえる風通しの良い職場となるような会議や研修が必要だと思いました。自園は園庭が無く戸外に毎日出かけるので、交通ルールや防犯について職員と子どもたちが学ぶ機会をこれからも大切にし、地域の専門機関との連携を密に行う必要性があると感じました。園児の転園や入園状況で、少子化の影響があるので特徴の発信を工夫・検討します。